

# 未来への軌跡

志を持ち、未来を創ろう！ 気付き、考え、動く翁中生！

翁頭中学校だより  
3月1日 第20号  
文責 校長 山下



予想どおり、あつという間に2月が過ぎました。今日から令和5年度最終月が始まりました。「画竜点睛（がりょうてんせい）」という言葉があります。自分の成長を自覚するとともに、十分でなかったところに力を入れ、今の学年の締めくくりをしてほしいと思います。

「画竜点睛」とは、中国の故事から生まれた言葉です。昔、中国に、張僧繇（ちようそうよう）という画家がいました。ある時、金陵の安樂寺というお寺に四頭の竜の絵を描いたのですが、瞳（睛）を描くと竜が飛び去ってしまうと言って、瞳をかきませんでした。人々はこれを嘘だと言って信じず、無理やり瞳を描き入れさせたところ、瞳を入れた二頭の竜がたちまち天に昇っていき、瞳を入れなかった二頭の竜は残ったという話です。このことから、「物事の最も重要なところ、または、最終的に大切な部分を付け加えて物事を完全に仕上げること。」という意味があります。つまり、「仕上げが肝心」ということです。

現在、3階に上がる踊り場に、3年生の道徳の時間に書かれた「思いやりの挨拶や校門での3・4・5挨拶」がなぜ必要なのか、一人一人の考えが記入されたものが掲示されています。

○挨拶は、会話のようなものです。「今日一日よろしくね」「今日、元気？」など、いろいろな思いが込められています。  
○3・4・5挨拶について、朝校門でする時は一日の目標、帰りに校門でする時は一日の振り返りをする。3・4・5挨拶をすることで、一日を無駄なく過ごすことができます。

学年の仕上げとして、後輩へ伝統を引き継いでもらいたいという3年生の思いがよく伝わってきます。これも画竜点睛を意識した言動でしょう。

残り約1か月。今年度当初に決意した学級目標や個人目標学習面・生活面を達成できるように、最後の仕上げを全力で実践してほしいと思います。



## 球技大会が実施されました

2月14日（火）に、2学期末に予定し延期していた球技大会を実施しました。天気の関係で、体育館で学年対抗のドッチボールとなりました。どの学年も楽しそうに活動する姿見られました。目的でもある学年間の親睦も図れたと思います。旧生徒会役員の方皆さん、企画・運営等、ありがとうございました。



## ソフトテニス学年別大会

2月25日（土）に、ソフトテニス学年別大会が開催されました。今回は、学年別ということもあり、今までと違うペアが多かったように思います。どのペアもよく頑張り、確実に上達していました。（教頭先生談）なお、次のペアは、3月末に長崎市で行われる大会へ出場します。活躍を期待しています。

### 【2年生の部】

- 男子 優勝 餌網代侑士・松本湊  
2位 佐々野遥斗・道下哲司
- 女子 3位 萩里瑠比・山口悠  
3位 平田美葵・北川幸奈
- 【1年生の部】
- 男子 3位 大櫛優真・林善一
- 女子 2位 平山理子・谷合美紀  
3位 野原結愛・松野尾真央  
3位 餌網代祥子・戸田紗芳子



- 1日:授業参観・PTA
- 2日:本山小6年との交流授業
- 3日:実行部会
- 5日:県ソフトテニス春季大会
- 6日:生徒会の日・心磨清掃強調日
- 7日:SC来校
- 7~8日:後期公立高校入試
- 9日:生徒集会・卒業式練習
- 10日:送別行事・卒業式練習

### 「登下校について思う」

再び翁頭中に勤務して間もなく一年が経とうとしている。以前勤務していた時と比べて最も驚いたのは、保護者による送迎の多さである。以前は、雨の日の送迎は見られたものの、晴れた日には、特別な場合（怪我や病気など）を除いて、あまり保護者による送迎を見かけることはなかった。この間、何があったのだろうか。「不審者や交通事故が心配、遅刻しそう、帰りが暗く心配、習い事…」  
徒歩や自転車通学に関する不安は確かにあると思う。メリットとしては、「体力がつき病気や怪我になりにくい、運動不足解消、忍耐力…」  
1か月後には新年度を迎え、新入生が入学してくる。ぜひ、この機会に、親子で登下校の方法についても話し合ってみてはどうでしょうか。